



読字 原田 鏡

No. 757

2015/ 2/ 15

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒110-0052 東京都千代田区千代田1-1-1

日中友好協会
岡山支部
〒700-8256 岡山県岡山市東区3-8-30
TEL:086(272)-3010
郵便番号1100 01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911 倉敷市遊島中央1-8-4 (宮地方)
TEL/FAX:086(446)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



岡山地域人権問題研究集会二〇一五 —DVD「泥にまみれた靴で」上映—

日中岡山支部事務局長 小林 軍治

はじめに

2月7日(土)、岡山市勤労者福祉センターで、岡山県地域人権問題研究集会実行委員会(略 実行委員会)主催の表記集会在開催されました。この集会は「人権と連帯の花ひらく岡山に」—憲法が輝く

く地域づくり—をテーマに2012年から始まり4回目です。日中岡山支部は、第1回目から実行委員会に参加し、

私たちが憲法を暮しに活かすとは何か！

午前中の全体会は、約250人が参加し、会場いっぱいになりました。主催者を代表して岡山人権連

平和と人権」に関する分科会に、報告者、司会者としてかわり、集会成功のために貢献してきました。

に、私たちは何をなすべきか、熱く語りました。

「泥にまみれた靴で」を見て

私は午後、第六分科会「人権と平和・原発」に報告者として参加しました。

そこで「侵略戦争の実相」と題し、DVD「泥にまみれた靴で」の上映及び戦争体験の正しい継承(歴史認識の基礎)と日中不再戦などについて述べ

ました。参加者は18人と少なかつたが、次のような感想が出されました。

七十年前に日本がやったことと「イスラム国」がダブル

今日は別の分科会へ行く予定だったのですけれど、泥にまみ



報告する小林さん

れた靴で」のDVD上映があるというのを聞きましてこの分科会へ来ました。平和という面が考えたら今、イスラム国の問題がニュースで取り上げられていますが、今日のDVDを観て70年前の日本がやっていたことが、今問題になつているイスラム国がやっていることと何ら変わらぬ。

ほんとうに戦争という狂気がやつている事は何年たとうが、国が変わろうが同じ事をやっているんだなあと、一番に感じました。その中で自分たちがイスラム国に対して「極悪非道だなあ」と感じられるのはこの70年戦争しないで平和に來られた、九条があるおかげかなと思えば、やっぱり九条を変えてはいけない、そういう思いを強くしました。とくに安倍総理はこれで九条を変える準備を確信したようですが、私たちが見たら、いま平和があるのは九条があるおかげだし、九条があるから世界の国から日本は平和な国として信頼してもらえているという事を、もつと若者や広くみんなに訴えていかなければいけないのかなと思いました。

竹内嘉寿子



全体会で講演する小畑さん

安倍首相が憲法改正に執念を燃やしている状況をうけ、これに対抗して憲法を守り、活かすため

最後に 私たちが憲法を暮しに活かすとは何か」と問いかけ、次のように結んだ。私たちが暮らす社会(地域・学園・職場・家族など)を自立し

て岡山人権連の中島議長があいさつし、小畑実行委員長が「基本的人権の安全保障体制の確立を」—憲法を政治と暮らしに活かそう!—と基調講演を行いました。

安倍首相が憲法改正に執念を燃やしている状況をうけ、これに対抗して憲法を守り、活かすため

最後に 私たちが憲法を暮しに活かすとは何か」と問いかけ、次のように結んだ。私たちが暮らす社会(地域・学園・職場・家族など)を自立し

卯年はネコ年？

ここで紹介する一文は、国立民族学博物館発行の月刊『卯んぱく』一月号に掲載されていた文です。
 樫永真佐夫氏の「今年はやギ年」という文章の抜粋です。

“周知のとおり、日本の十支にネコはない。しかし中国でもベトナムでも「卯」はウサギではなく、ネコだ。「未」だってどこでもヒツジだと思っていると大間違

い。ベトナム、ラオス、タイでは、なんとヤギなのだ。

ベトナム民間文化研究所のチュー・スアン・ザオ氏に訊いたところ、「未」がヤギである由来譚などはとくに思いあたらないと言う。

古来ベトナムにヒツジがいなくて、ヤギしか飼育しなかったからだろうか。それなら日本の十二支にトラやヒツジがいるのも奇妙だ。だが日本で「亥」がブタか

らイノシシになったように、ベトナムではヤギが栄えあるヒツジの代役を仰せ

つかっただろうか。はっきりしたことはわからない。・・・”

この後も、ヤギについての考察が続くのですが、私はネコに

(真田)

岡山県相談説明会・健康増進交流会に参加して 放った矢に、次の矢が入りびっくり

1月16日、岡山県の中国帰国者を対象に相談説明会と健康増進交流会が西川原プラザで開催されました。

はじめに岡山市の保健士が定期検診の重要性について、説明してくれました。参加者からいろいろな質問がありました。健康に対する関心の高さがうかがえます。それから健康増進交流会でスポーツ吹矢を行いました。私は初めて体験しました。私はす

ぐ慣れました。



芳田日本語講座受講生 守本 信子

私は、最初に放った矢に、次の矢が入りびっくりしました。

競技会では、益田さんが2位に、山根さんが3位に入賞しました。私は入賞できませんでしたが、みなさんと楽しくプレイができ、よかったです。また吹矢をしたいです。



ニホン人は、なぜ、ニホン語をおしえることができるのか？

100

竹内和夫



教科書をつくろう (5)

A.: 「科学の目」でニホン語を見る。おはなしの最終回になりました。ご愛読ありがとうございました。質問をお寄せください。わたしども3人の高校生のおしゃべりの大事な点は3点です。

(1) 日本語はやさしい言語です。これを証明する試みもしましたが、おそらく、ほんの入り口です。言語と文字をとりちがえると科学の目がくもってしまいます。基礎となる力を大切にしたい。

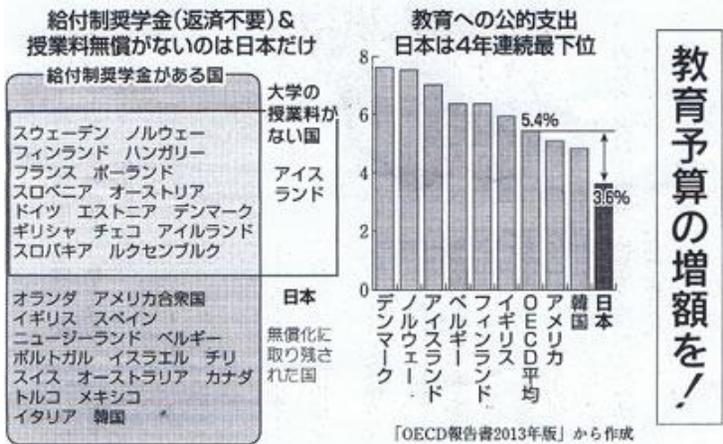
(2) 「国文法」の欠点を早くなおしたい。未来の子供たちに、すなおにわかってもらえる文法をのこしたい。

すべての国語辞典の巻末にある「活用表」を新ためてほしい、これは急を要します。出版社の勇気に期待します。ニホン語にとって「主語」は必要なのか。

(3) だれもがなっとくできる正書法をつくりたい。かなりの知恵と時間がかかるでしょう。いまのままでは読み書き能力がよくなることを期待できません。

夜間中学が必要です、いまだに8都府県に31校ですから。教育予算をもっと、もっと。

どんな戦争もゆるさない！



‘14.9.11’新婦人新聞

《 おわり 》

次の新聞発送作業は2月23日(月)1時半から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

小林 和
 竹内 袈
 竹内 坪井